

大峰山で唯一の独立峰

大峰 稲村ヶ岳

2024年6月1日(土)

<参加メンバー> 10人(女性5人・男性5人)

<天候> 晴れ

< コースタイム >

6月1日(土)

- 8:30 大橋茶屋駐車場着(トイレ)
- 8:45 出発
- 8:57 母公堂着(鈴木号と合流)トイレ
- 9:03 稲村ヶ岳へ出発
- 10:02 法力峠
- 11:30 稲村ヶ岳山荘着(昼食・トイレ)
- 12:13 大日山山頂入口着
- 12:49 宝剣
- 13:06 稲村ヶ岳山頂着
- 13:26 稲村ヶ岳下山レンゲ辻経由
- 14:48 女人結界着
- 14:58 大峰大橋へ下山
- 16:13 下山

< 山行の概要 >

- 今回3台によるマイカー山行です。
- 多少の暑さは感じるが日陰は心地良い天気であった。
- 稲村ヶ岳は女人禁制が現在も続く山上ヶ岳の横にある山である。
- 途中大日山、キレットの岩場もある。
- 今回は大橋茶屋駐車場から母公堂、山上辻～大日山～稲村ヶ岳をピストンして、稲村ヶ岳山荘からレンゲ辻経由で女人結界を経て大橋駐車場へ戻る周回コースであった。
- 登りは杉木立の続く足に負担無く足に優しい登り易い登山道であった。
- 下山は打って変わって、急坂で道も荒れ、道幅も狭く崩れそうな箇所も多く、鎖場も数ヶ所設置されていた。河岸もテープを探しながらの渡渉。
- しかし花の百名山と言われるだけあり、いわかがみ、山紫陽花、石楠花が健気に咲き誇り、私たちを癒してくれた。



1 大峰大橋駐車場



2 母公堂へ向けて出発。



3 母公堂着。修験道の始祖エンノオズメの母シラトウメを祀っている。



4 登山開始



5 綺麗な杉木立が続く



6 木道は、劣化注意



7 法力峠



8 杉木立の中、足に優しい



9 いつの間にか稲村ヶ岳山荘に到着



10 山荘にはトイレがあり、次の人の為にバケツに水を入れて置く。



11 大日山、稲村ヶ岳を約2時間かけてピストン。



12 岩場が出てきた。



13 先ずは大日山にアタック。



14 中々の急登。



15 木の階段も劣化。



16 岩場の陰にひっそりと健気に咲く



17 大日山山頂は狭く。



18 石楠花はもう終わりかけだが、日陰にはまだ綺麗に残っている。



19 稲村ヶ岳山頂。



20 下山開始。



21 下山の筈がまた登り。



22 女人結界。



23 女人禁制はいつまで続く。



24 下りは道が荒れ気味。



25 鎖場が続く。



26 長い下りが続く。



27 疲れた身体が癒される



28 劣化した道が続く！



29 日本庭園のような眺め。



30 やっと下山。16:13 駐車場まで後 30 分。